



日本共産党 北区議会議員

No.44 2023.3 月号

せいの恵子 区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com>  mail@keiko-seino.com

ご相談は
お気軽に 070-3531-0812



区立小・中学校給食費完全無償化につづき

補聴器補助の実現を



北区では、区立小・中学校の学校給食完全無償化が4月から実現。

高齢者からは、「次は補聴器購入補助にぜひ道筋をつけてほしい」と声があがっています。

まわりの音や会話している人の声が聞き取りづらいなどの「聴こえ」の問題。補聴器の使用を考えていても、精密機械で高価な補聴器は、なかなか購入できないのが実態です。

「聴こえ」の支援について東京都 23 区の中では、すでに 16 区が踏み出しており、新年度も中野区、杉並区が実施に前向き。未だ助成制度がないのは、北区を含む数区だけとなっています。

日本共産党北区議員団は、北区が示す予算案に対して、毎年、組み替え動議を提案、補聴器補助の実現を求めてきました。また、住民陳情では自民、公明などが「継続審査」の態度を取る中、共産党は「採択」を主張してきました。

2月22日の北区議会第1回定例会において、宇都宮章区議が代表質問で新年度の補聴器購入助成の実施を区長に求めました。

区は「補聴器助成については、先行区における制度内容や利用状況なども参考に、対象者や補助金額などを検討しているところであり、今後は、具体的な制度内容を踏まえた、医師会との協議・調整も進めると」答弁しました。これからも実現に向け、粘り強く取り組んでいきます。

日本共産党都議団も補聴器補助条例を提案

区市町村の
取り組みを
後押し!!

補聴器の購入費助成条例

01
POINT

助成額

- ・片耳 68,500 円まで助成
- ・両耳分 (137,000円) が対象

02
POINT

対象者

- ・18 歳以上の都民 ※1
- ・聴力が概ね 40dB 以上
- ・耳鼻科医が補聴器を必要と認めた方
- ・補装用具費支給制度の対象となる聴力ではない方

※1 18 歳未満の方は別制度あり

03
POINT

更新費用

- ・耐用年数経過後の更新費用も助成対象

JCP TOKYO
共産党都議団



区議会 健康福祉委員会質疑報告



3月1日、北区議会健康福祉委員会が開かれました。

今回は令和5年度の予算概要の中で健康福祉委員会に関連する新規事業やレベルアップ事業などが所管課から報告されました。

私はこの間、質疑を重ねてきた、ひきこもり対策事業について要望も含め質疑をしました。

ひきこもり対策事業（レベルアップ）

区では現在、ひきこもり支援プラットフォーム会議を区の所管課と家族会、社会福祉協議会などの関係者で定期的に行っています。

今回、「居場所づくりの場の開設」の検討が行われ、居場所をどこに作るのか、ピアサポーターを含めた人員体制、周知の方法などについて意見が出されたと報告がありました。

私は家族会の皆さんの意見を聞きながら、常時開設を基本とした居場所づくりと人員体制が望ましいと述べました。また、プラットフォーム会議にはひきこもりの低年齢化や長期化からも、教育委員会も参加する体制づくりを要望しました。

少しずつ前進してきているひきこもり支援ですが、まだまだ、悩みを抱えている当事者や家族は多くいます。相談しやすく、利用したいと思える居場所づくりをいっそう進めていきます。

先月の活動あれこれ



2月16日、北区立小中学特別支援学級の「卒業生を送る会」に出席しました。

エントランスには、素敵な作品がいっぱい。

式典では、将来の夢や進学して頑張りたいことを、児童・生徒の皆さんが発表してくれました。一人ひとりの個性や特性が大切にされ、夢に向かって一歩ずつ進んでいける社会に。私も頑張っています！



2月21日、西巣鴨交差点で「平和、いのち、くらしを壊す大増税、大増税に反対する署名」と「トルコ・シリア地震支援募金」に取り組みました。

あまりの風の強さと寒さで予定よりも少し早い終了となりましたが、多くの方から署名と募金が寄せられました。

お預かりした募金は、日本共産党として責任をもって国際機関などにお渡しします。

